

【署名】 国際航空宇宙展を虐殺兵器展にしないでください！

10月16～19日、有明の東京ビッグサイトで6年ぶりに「国際航空宇宙展」が開催されます。「航空宇宙」と銘打っていますが、とりわけ海外ブースは事実上の武器見本市であり、国内外の名だたる軍需企業が出展リストにその名を連ねています。

前回2018年にも出展していたイスラエル最大の軍需企業エルビット・システムズが今回も出展を予定しています。また、6月20日に出された国連の専門家30人による声明で、イスラエルの国際人道法・人権法違反に加担していると名指しで批判されたBAEシステムズ、ボーイング、ジェネラル・ダイナミクス、ロッキード・マーチン、RTX（旧レイセオン）などの欧米軍需大手も出展しようとしています。

フランスですら、6月にパリで開催された国際武器見本市「ユーロサトリ」で、イスラエル企業の出展を禁止しました。戦争を放棄した憲法9条と世界の人々の平和的生存権を守ると誓った憲法前文を持つ日本で、まさに今、最低でも4万人を超えた大虐殺に武器を供給中の「死の商人」たちに商機を与えることは許されません。

侵略や虐殺は武器見本市から始まります。現在進行形のガザ大虐殺のテクノロジーを見せびらかす武器見本市を見過ごすことはできません。私たちは、ジェノサイドを引き起こし、継続させている一切の武器取引の中止を求めるとともに、ジェノサイドを促進する国際航空宇宙展の開催にあたって、日本政府および主催者である日本航空宇宙工業会に対して、以下を要求します。

1. 日本政府・防衛省は虐殺への加担となるイスラエル製攻撃型ドローンの輸入を中止し、日本イスラエル経済連携協定共同研究の中止などイスラエルへの制裁を実施すること
2. 日本政府および日本航空宇宙工業会は、フランス政府にならって、イスラエルおよび欧米の虐殺加担企業の出展を禁止すること
3. 防衛省、外務省、経産省は、ジェノサイドに加担する国際航空宇宙展への後援を出さないこと
4. 日本航空宇宙工業会は、海外ブースが武器見本市と化している国際航空宇宙展のあり方を抜本的に見直し、憲法9条にふさわしいものに改善すること

<署名発起団体>

国際航空宇宙展を虐殺兵器展にするな！キャンペーン

(呼びかけ団体 武器取引反対ネットワーク (NAJAT)、STOP大軍拡アクション)

[連絡先] TEL 090-6185-4407 (杉原) メール info@noheikiten.shop

氏名 (ペンネーム可)	都道府県名・国名